

【エネルギー】地熱 太陽エネルギー**地熱及び太陽エネルギープロジェクトに4億6,700万ドルを助成(米国)**

2009年5月、オバマ大統領は、米国全土における地熱エネルギーと太陽エネルギーの開発・普及・利用の拡大および促進を目指して、米国再興・再投資法(ARRA: American Reinvestment and Recovery Act)から4億6,700万ドル強を拠出することを発表した。今回の助成は、今後太陽エネルギー産業と地熱産業が技術的障壁を克服して新技術を実証し、クリーンエネルギー関連の雇用を創出するための、重要な先行投資(down payment)となるだろう。今回の発表は、米国経済の競争力向上を目指すオバマ政権の戦略を支援するとともに、雇用の創出と、クリーンエネルギー経済への移行を目指すものである。

「私達には選択肢がある。私達米国は世界の主要な石油輸入国であり続けることもできるし、世界の主要なクリーンエネルギー輸出国になることもできる」とオバマ大統領は話す。「私達は競争国に対して将来の仕事を引き渡してしまうこともできるし、米国の素晴らしい機会としてこれまで認識されてきた事案に立ち向かうこともできる。新たなクリーンエネルギー源の創出において世界をリードする国が、21世紀の世界経済を導く国となるだろう。米国がその国になることを私は望んでいる。」

「私達は、太陽エネルギーや地熱エネルギーなどのクリーンエネルギー技術に投資することによって何百万人もの雇用を創出するという、意欲的な計画を持っている」と、米国エネルギー省(DOE: Department of Energy)のステイブン・チュー長官は話す。「これらの技術は広範なエネルギーポートフォリオのうちの二つの構成要素である。これによって私達米国は、気候変動に積極的に取り組むことができるとともに、クリーンエネルギーの雇用における世界的なリーダーとしての地位を回復するだろう。」

**地熱エネルギー**

地熱エネルギーはクリーンな再生可能エネルギー源であり、地球の熱を利用して暖房や発電を行う。地熱発電所は一日中稼働でき、重要な「ベースロード<sup>注1</sup>」を供給することができる。

米国再興法はこの技術に対して新たに3億5,000万ドルを投資する。この投資額は、これまでの政府の取組みが小さく見えてしまうほどの額である。米国再興法は、非常に重要な以下の4分野のプロジェクトに対して支援を行う予定である： 地熱実証プロジェクト、地熱井涵養システム(EGS: Enhanced Geothermal System)の研究開発、革新的な探査技術、全米地熱データシステム、資源評価、および分類システム。

<sup>注1</sup> 必要電力の最も基本になる部分を供給するもので一定期間変動しない。

### **地熱実証プロジェクト (1 億 4,000 万ドル)**

新しい地理区域で地熱エネルギーを促進するための最新技術の実証を支援する。また、油田 / ガス田、高地圧地層、および、低中温地熱資源からの地熱発電の実証も支援する。

### **EGS 技術の研究開発 (8,000 万ドル)**

全米で地熱発電を可能にするための EGS 技術の研究を支援する。従来型の地熱エネルギーシステムは、容易にアクセスできる地熱水資源の近くに位置させなければならず、全米では使用できなかった。EGS は人工貯留層を通して熱資源の利用を可能にし、発電に利用することができる。EGS はコスト競争力のあるクリーン発電を行うことを長期的目標に据えているが、この先短期間で技術的準備が整っていることを実証するためには研究開発を認可する必要がある。

### **革新的な掘削技術 (1 億ドル)**

探査、設置、掘削、および、革新的掘削技術を用いた一連の探査井の特徴付けなどの、プロジェクトの支援を行う。地熱エネルギー源の探査は、先行投資に高いリスクが伴う可能性がある。革新的な探査技術・手法への投資や、妥当性の評価によって、DOE は民間部門の先行投資リスクのレベルを低減させることができ、それによって民間部門は新たな地熱資源の発見や投資額の増加が可能になる。

### **全米の地熱データシステム、資源評価、および分類システム (3,000 万ドル)**

地熱エネルギー技術の長期的成功は、米国全土における地熱エネルギー源の詳細な特徴付けにかかっている。2008 年、米国地質調査所(USGS: United States Geological Survey) は、米国西部における潜在的な高温地熱資源の評価を実施した。新たな低温地熱資源、高地圧地層、油田 / ガス田からの併産(co-production)、および、EGS 技術を十分に活用するために、DOE は USGS やパートナーらと連携して、全米の地熱資源の評価を支援する。二つ目として、DOE は、大学、研究者および民間部門が地熱資源データを利用できるように、全米のデータシステムの開発を支援する。三つ目として、DOE は、資源賦存場所の潜在能力確定に用いるための、地熱資源分類システムの開発を支援する。

## **太陽エネルギー**

太陽エネルギー産業は急速に拡大しており、米国での年間増加率は二桁を記録している。DOE は、太陽エネルギー技術が従来型のエネルギー源と比べてコスト競争力を持てるように、国内産業の製造能力、製品生産量、販売力の拡大支援に重点を置いている。DOE は米国全土にわたるクリーンな太陽エネルギー技術の幅広い商業化を進めるために、米国再興法資金から 1 億 1,760 万ドルを助成する。この取組みは、米国の太陽エネルギー産業

を強化して国際市場でリーダーとなることを目標としており、DOE の国立研究所、大学、地方政府、および民間部門を含むパートナーシップを活用する予定である。

#### **太陽光発電技術の開発 (5,150 万ドル)**

DOE は太陽光発電の先進的概念、および、影響力の強い技術に投資を拡大する。これは太陽光発電に従来型の電力資源と同レベルのコスト競争力を持たせ、国内製造業者の競争力強化と能力増強を目指すものである。

#### **太陽エネルギーの普及 (4,050 万ドル)**

この分野のプロジェクトは、太陽エネルギー普及における非技術的障壁( 系統への連系、都市部における太陽エネルギー採用についての市場の障壁、および、太陽エネルギー設備の熟練した設置業者の不足など) に重点が置かれる。新技術の開発とあわせて、この普及の取り組みは、住宅環境、商業環境、および都市環境において太陽エネルギーを幅広く採用するための道を切り拓く支援となるだろう。

#### **集光型太陽熱発電(CSP: Concentrating Solar Power)の研究開発 (2,560 万ドル)**

研究の重点は、集光型太陽熱発電技術の信頼性の向上、および、太陽エネルギー産業に対してテスト・評価の支援を提供する DOE 国立研究所の能力強化に置かれる。

米国再興法の助成公募(Funding Opportunities)についての詳細はウェブサイト<sup>注 2</sup> を参照されたい。

翻訳：NEDO 研究評価広報部

出典：<http://www.energy.gov/news2009/7427.htm>

---

<sup>注 2</sup> <http://www.energy.gov/recovery/funding.htm>